

受講生
募集

農林水産省
認定

農福連携 技術支援者育成研修



募集人数
20名

受講料
無料*

*ただし、研修に係る
交通費等は受講者負担

【農福連携技術支援者とは】

農福連携に携わる当事者（農業者・就労系障害福祉サービス事業所の職業指導員・障害者本人等）に対し、農福連携を現場で実践する手法を具体的にアドバイスする専門人材のことです。修了試験を含む全ての研修課程を受講し、必要な知識と技能を身につけたと認められた方は、研修修了者となり、「農福連携技術支援者（農林水産省認定）」として、現場における支援をすることができます。

沖縄県で受講できます！

こんな
スキルを
取得可能！

- 社会福祉や障害福祉サービス事業等に関する知識！
- 農業と農業経営等に関する知識！
- 農家が障害者を受け入れる際に、農業現場において関係者に実務的なアドバイスを行う技法と支援能力！

【申込条件】

- ・ 沖縄県内にて「農福連携に携わっている方」または「資格取得後に沖縄県内にて農福連携を推進するために活動できる方」
※ 農業者、障害福祉事業所職員、自治体職員、JA職員、民間企業等
 - ・ 修了試験を含むすべての研修課程を受講できる方
 - ・ 申込多数の場合、受講できない場合があります。
- 受講者選考の詳細等についてはお答えできませんので、ご了承ください。

第1講座 座学研修

農林水産省実施の農福連携技術支援者育成研修における座学研修をe-ラーニングにて受講。受講後、レポートの提出にて修了となります。

第2講座 実地研修＋グループワーク

県内の福祉事業所視察や、露地畑やビニールハウス内での農作業、障害者特性に対応した農作業支援技法を学ぶグループワークなどを実施します。

詳しくはウラ面をチェック！



左のQRコードを読み込み、
「農福連携技術支援者育成研修 受講申込書」をダウンロードし
各項目をご記入の上、右記のメール、FAX、郵送のいずれかの
方法にて、受講申込書をお送りください。

E-MAIL noufuku@idb-aaa.co.jp

FAX 098-941-3973

郵送 〒900-0004 那覇市銘苅1-2-22 3F
有限会社アイディー・ブランド 宛

以下の講座を通して、農業現場において関係者に実務的なアドバイスを行う

「農福連携技術支援者(農林水産省認定)」を育成します

※掲載内容は変更になる場合がございます

第1講座 座学研修

【期間】 令和5年10月10日(火)～27日(金)
 【場所】 ネットワーク環境がある場所にて各自での対応
 【時間】 各90分 ※座学⑪のみ3時間となります。

※受講者には受講者専用サイト(YouTube)のURLを送ります。
 期間中に各自にて受講をお願いします。

座学①	座学②	座学③	座学④
農福連携概論 吉田 行郷 氏(千葉大学 園芸学 研究員 教授)	社会福祉と障害者福祉 朝日 雅也 氏(埼玉県立大学 教授)	障害者雇用と障害福祉サービス 事業の仕組み、関係機関の役割 厚生労働省	障害福祉サービス事業の運営の実務 小淵 久徳 氏 (社会福祉法人ゆずりは会 菜の花 管理者)
座学⑤	座学⑥	座学⑦	座学⑧
障害特性と職業的課題の基礎 若林 功 氏(常盤大学 准教授)	農業と農村社会 農林水産政策研究所	農作業の一般的な特徴 豊田 正博 氏(兵庫県立大学 教授)	農業経営の仕組み 久保田 豊和 氏(静岡県立田方農業高等学校 校長)
座学⑨	座学⑩	座学⑪	
農作業の流れ 藤田 智 氏(恵泉女学園大学 教授)	農業者による農福連携の経営実務 竹内 功 氏(竹内農園 代表)	農作業における作業細分化・難易度評価・作業割当ての技法(事前学習) 豊田 正博 氏(兵庫県立大学 教授)	

第2講座 実地研修+グループワーク

【期間】 令和5年11月7日(火)～10日(金)

	1日目	2日目	3日目	4日目	
	令和5年11月7日(火) 場所: うりずんファーム(沖縄市)	令和5年11月8日(水) 場所: うりずんファーム(沖縄市) 振返り: うるま市立石川地区公民館 第1研修室	令和5年11月9日(木) 場所: NPO法人大夢農場(うるま市)	令和5年11月10日(金) 場所: うるま市立石川地区公民館 第1研修室	
8:00			※バスにて研修場所へ移動		
9:00	開講式(8:50)		実地研修(8:30～11:00)	グループワーク(9:00～12:00)	
10:00	実地研修①(9:00～12:00) 農作業における作業細分化・ 難易度評価・作業割当ての技法 ●刈り払い機、鎌による除草 ●マルチ貼り・穴あけ等 新里 えり子 氏 (がらまんファーム 代表、農福連携技術支援者)	実地研修③(9:00～12:00) 農作業における作業細分化・ 難易度評価・作業割当ての技法 ●葉野菜の収穫 ●調製 ●袋詰め ●袋留め等 新里 えり子 氏 (がらまんファーム 代表、農福連携技術支援者)	障害福祉サービス事業の 運営・実務 <事業所見学> 石川 哲次 氏 (NPO法人 大夢 理事長)	障害特性に対応した 農作業支援技法 新里 えり子 氏 (がらまんファーム 代表、農福連携技術支援者)	
11:00					
12:00	昼休憩	昼休憩		昼休憩	
13:00	実地研修②(13:00～14:30) 農作業における作業細分化・ 難易度評価・作業割当ての技法 ●セルトレイへの種 ●苗の定植作業等 新里 えり子 氏 (がらまんファーム 代表、農福連携技術支援者)	振り返り(13:00～14:30) <実地研修①の演習> 農作業における作業細分化・ 難易度評価・作業割当ての技法 新里 えり子 氏 (がらまんファーム 代表、農福連携技術支援者)	ぜひご参加ください 沖縄県農福連携推進 講演会 うるま市生涯学習・文化振興センター ゆらてく多目的ホール 予約制 入場無料 詳しくは こちらをチェック	グループワーク(13:00～15:00) 障害特性に対応した 農作業支援技法 新里 えり子 氏 (がらまんファーム 代表、農福連携技術支援者)	
14:00					
15:00	振り返り(14:45～16:30) <実地研修②の演習> 農作業における作業細分化・ 難易度評価・作業割当ての技法 新里 えり子 氏 (がらまんファーム 代表、農福連携技術支援者)	振り返り(14:45～16:30) <実地研修③の演習> 農作業における作業細分化・ 難易度評価・作業割当ての技法 新里 えり子 氏 (がらまんファーム 代表、農福連携技術支援者)			
16:00				(15:30～17:00) 修了試験	
17:00				閉講式(17:00～17:15)	

- 実地研修の最終日に修了試験を実施します。農林水産省は、受講者の修了試験の結果を踏まえて、後日、必要な知識と技能を身につけた者を「研修修了者」として認定します。認定の通知を受けるまでは、「農福連携技術支援者(農林水産省認定)」の肩書きを用いることはできません。なお、認定まで1～2ヶ月程度かかりますので、御了承ください。
- 農福連携技術支援者(農林水産省認定)は、国家資格ではありません。



左のQRコードを読み込み、
「農福連携技術支援者育成研修 受講申込書」をダウンロードし
 各項目をご記入の上、右記のメール、FAX、郵送のいずれかの
 方法にて、受講申込書をお送りください。

E-MAIL noufuku@idb-aaa.co.jp

FAX 098-941-3973

郵送 〒900-0004 那覇市銘苅1-2-22 3 F
 有限会社アイディー・ブランド 宛